

学校通信



矢巾町立矢巾北中学校

わだち

『緑風北魂』

友愛・躍動・創造

2022. 04. 07

No. 01

〒028-3622

矢巾町大字上矢次 7-115

TEL : 019-697-1921

FAX : 019-697-7526

(文責：伊藤茂美)

令和4年度がスタート!

4月6日に1学期始業式が行われ、令和4年度がスタートしました。春休み期間中のコロナ感染により、体育館に集まっての開催を避け、リモートでの開催となりました。校長式辞では、「愚公移山(ぐこういざん)」の故事成語をもとに、1年間努力を積み上げる大切さを話しました。その後、各学年の代表と生徒会から新学期の決意が語られ、意欲に満ちた式になりました。併せて、今年度の担任の先生を紹介しました。例年ならば歓声や拍手が沸き起こる場面でしたが、目の前の生徒の反応を観察することができず残念でした。それでも各教室では、新しい担任(持ち上がりの担任も含め)との出会いに喜ぶ生徒の姿が見られ、良いスタートを切った一日となりました。

感染症がなかなか収束を見ない状況ではありますが、生徒たちが生き生きと活動できる環境づくりに努めていきたいと思えます。今年度も、どうぞよろしくお願いたします。



初めて担任となり生徒に指示を出す高橋優香先生と2年3組の皆さん。

新学期に向けて

生徒会代表 副会長 久光さくら さん

春休みも終わり、今日から新しい学年がスタートします。生徒の皆さん一人ひとりが期待と決意をもって新学期に臨んでいると思います。新3年生の皆さんは最高学年となり、中学校生活最後の年となります。行事や部活などで、下級生の手本となれる行動をし、それぞれの目標に向かって頑張りましょう。また、来年3月には公立高校入試があります。進路も視野に入れて、目標の設定とそれを達成するために具体的な行動をすることが必要だと思っています。新2年生の皆さんは、先輩となり今度は自分たちが1年生を教える立場となります。3年生をしっかりと支え、1年生を正しくリードするととても重要な学年です。部活や勉強に積極的に取り組みましょう。1ヶ月後には、北中三大行事の一つ、皐月祭が行われます。全員が本気で取り組むことで、皐月祭を成功させることができ、一人ひとりの達成感も得ることが出来ると思います。各組団協力して優勝を目指しましょう。また、生活していく中で、新型コロナウイルスの感染防止に努め、健康に気を付けることが必要となります。一人ひとりが感染対策を改めて見直すことが大切です。そして、お互いが思いやりの心をもって良い学校をつくっていきましょう。

1 学期始業式校長式辞

今日から、令和4年度が始まります。皆さんは学年がひとつあがり、新しい生活に胸を膨らませていると思います。2年生は新入生の先輩として手本を示し、学校を支える中堅学年として頑張ってもらいたいと思います。3年生は最高学年としてこの学校を牽引するとともに、卒業した先輩達に勝るとも劣らぬような実績を残せるよう、また、自分の進路実現のため、学習に、部活動に精進してほしいと思います。今年度も、矢巾北中学校が岩手県一の良い学校となるように、みんなで心を合わせ頑張っていきましょう。

さて、「一年の計は元旦にあり」といいます。学校生活の元旦にあたるのが、今日の始業式です。今年一年をどのように過ごすのか、一年のスタートにあたる日にしっかりと計画をしてほしいと思います。そのときに、皆さんに心がけてほしいことを一つ話します。それは、「一日一日の積み重ねを大切にしてほしい。」ということです。例えば、「進路実現に向けて苦手教科を克服したい」とか、「県で優勝するために技術や体力を高めたい。」と願ったとき、それは一日や一週間で叶うものでしょうか。目標が大きくなればなるほど、その目標の達成には長い日数と地道な努力が必要です。助けてくれる先生やコーチ、励ましてくれる家族はいても、実際にやるのは自分です。一日一日の積み重ねを大切に、努力していくしかないのです。

私の好きな言葉に「愚公移山」があります。愚公という90才を過ぎた老人が交通の便をよくするため、家の前にある山を崩して道を作り始めたところ、これを見た人が「そんなことできっこない」と笑いました。それに対し愚公は、「私だけでなく、子孫が次々と続けてやればいつかは道はできる」と言ったという中国の故事からできた言葉です。「どんな困難なことでも努力し続ければ、いつかは必ず達成する」という教えを含んだ言葉なのです。毎日の努力で辛くなった時には、是非この言葉を思い出してください。今日からの皆さんの努力の積み重ねが、大きな成果となって一年後に現われることを期待しています。

終わりに、未だ収束が見えない新型感染症ですが、皆さんが楽しみにしている行事や部活動の大会ができるように、それぞれがそれぞれの場所で感染症への対策を徹底して行っていきましょう。

校長 伊藤 茂美